



6月22日(木) 保土ヶ谷公会堂にて「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト区審査会」が行われ、本校から6年生中口奈南さんが出場しました。中口さんのスピーチの題名は『誰もが輝ける時代へ』です。

みなさんは、ガチャガチャをしたことがありますか。5年生のころ、歯医者に行ったとき、ガチャガチャに男の子用、女の子用と書かれているものがありました。私は、男の子用のガチャガチャを回しました。その時、周りの子に「あの男の子じゃないのに、男の子用のガチャガチャを回してる。いけないんだ。」と言われました。その時は、そうなのかと不思議に思うと同時に、そんなことを言わなくてもいいのにと悲しい気持ちになりました。男の子女の子関係なく、自分が好きなことをすればいいのと思えました。この出来事をきっかけに、性別にとらわれない生き方ができる社会が大事なのではないかと考えるようになりました。

最近、男の人は仕事に行かなくてはならない、女の人は家で家事をしなくてはならないという考え方は少なくなってきています。女性でも働くことができる社会になってきていて、とても嬉しく思います。でも、性別によって制限されたり「男らしく」「女らしく」という言葉を聞いたりすることがあります。私は自分のように髪の毛が短い女性がたくさんいてもいいと思います。反対に、髪の毛が長い男性がいてもいいと思います。髪型も服装も、決めるのはその人の自由です。制限されることはありません。私の髪型を「似合っているよ」と言ってくれる人たちもたくさんいます。

そもそも「らしさ」とはなんだろうと思います。ある時友達に「ななみって男っぽいよね」と言われ傷ついたことがありました。そのことをお母さんに話すと、お母さんが「あなたはあなたが思うことをしていいんだよ」と言ってくれました。その言葉を聞いて、私はとても励まされた気持ちになりました。女の子らしく生きなくてはいけないなんてことはない、自分がやりたいと思えることをしていこうと考えることができました。

みなさんはどうですか。性別によって自分のやることを決めていませんか。男の子がかわいいものを好きならそれでいいのです。女の子がかっこいいものを好きならそれでいいのです。自分が生きたいように生きることが大事なのです。性別によって差別されることは絶対にあってははいけません。私が考える平和は、性別によって差別されない世界です。私は自分の生きたいように生きていきます。みなさんも「自分は自分でいいんだ」と考えてください。その考えが広がっていくことで、世界中が平和になっていくはずですよ。

私自身振り返ると「男だから□□しなくてはいけない」「◇◇がいいって言うとなりからいけないって言われるかも」と気にしていたように思います。自分が好きなこと、やりたいこと「○○が好き」「◎◎がいい」と誰もが安心して伝え合える社会、その発言をみんなで認め合える社会は素敵だと思います。「自分は自分でいいんだ」と誰もが自信をもって言える、「あなたはあなたでいいんだよ」とお互いに認め合える、そんな学校や社会をみんなでめざしていきたいと思いました。

6年生の子どもたちは、一人ひとり「国際平和のために、自分がやりたいこと」「持続可能な社会に向けて、自分ができること」などをテーマに、よりよい社会になるためにはどうしたらよいか、自分の考えをまとめスピーチを発表しました。これからの社会を創っていく子どもたちです。これからの未来、『誰もが輝ける時代』が築かれていくことを願わずにはられません。